

観察研究のお知らせ

研究課題名

臨床病期I期非小細胞肺癌に対する標準手術・縮小手術・定位放射線治療の統合解析研究

研究の目的

I期肺癌の治療方法は肺葉切除とリンパ節郭清が標準的な手術です。しかし、手術を希望されない方や標準手術が難しい方の場合は、侵襲の少ない縮小手術や定位放射線治療(SBRT)を行います。それぞれの患者さんにとって、標準手術、縮小手術、SBRT いずれの選択肢がよいかを評価する方法は確立していません。今回、我々はこれら3つを比較した調査解析を行うこととしました。

研究の対象

当院で2013年1月から2014年2月に、I期非小細胞肺癌と診断され、

- 1) 当院呼吸器外科で標準手術または縮小手術を行った患者さん
- 2) 当院放射線治療科でSBRTを行った患者さん

が対象です。予定研究対象者数は約800名です。

研究の方法

該当症例につき、以下の情報をカルテより抽出します

- ・ 性別、年齢、体重、身長
- ・ 肺癌の情報(病変の大きさなど)
- ・ 肺癌に対する治療の情報(手術の方法、放射線治療の方法など)
- ・ 肺癌治療後の経過についての情報(生存や病気の再発、検査結果の推移など)

本研究のために患者さんに新たな検査をお願いすることはありません。

なお、本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究期間

倫理審査承認日から2年間

研究成果発表

学会や学術誌等で報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

お願い

上記対象条件に該当する患者さんにつきましては、カルテ記載事項や画像など必要なデータを研究に利用させていただくことをご了承ください。

本研究の詳細を知りたい場合には、研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧が可能ですので、下記までお問い合わせください。ただし、知的財産の保護等に支障がない範囲内に

限られます。他の研究対象者患者さんの個人情報に関するお答えできません。
なお、本研究への診療情報の利用を望まれない場合も、下記までご連絡ください。

研究事務局

1) 研究責任者

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

松尾 幸憲

電話:075-751-3762、FAX:075-771-9749

2) 個人情報管理責任者

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

岸 徳子

電話:075-751-3762、FAX:075-771-9749

病院相談窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話:075-751-4748

電子メール: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp